（小３３）鹿児島市立八幡小学校
令和５年１２月２０日

令和４年度　学校評価　自己評価書（２学期）

１　学校の重点目標

○「笑顔で挨拶八幡っ子」の実現に向け，笑顔で相手を見てあいさつができる児童を地域とともに育成する。
○「整理・整頓気持ちのいい学校」の実現に向け，清掃マニュアルや校内掲示物の在り方を見直していく。
○「命を守る学校」として，安全教育，事故防止，健康教育，児童虐待等に向け，事前指導や危険の予兆の早期発見・早期対応できる校内体制の充実を図る。
○「確かな学力の育成」に向け，テーマ研究を通した指導力向上や ICT や重点問題を利用した体制構築を図る。

２　課題と改善策

	評　価　項　目	職員	評価結果と改善方策
学力向上	1　学習の仕方の指導（準備，姿勢等）	3.1	・休み時間に授業準備が確実になされるようにしたい。
	2　家庭学習の内容や定着度の確認	2.9	・漢字や必要語彙を確実に身に付けさせていきたい。
	3　問題解決的な学習のめあての設定	3.0	・個に応じつつ基礎基本の定着を図る宿題を工夫する。
	4　主体的・対話的で深い学びとなる指導	2.7	・問題解決学習につながるようなめあてを設定する。 ・少しつづ話合い活動に取り組む機会が増えてきた。
生徒指導 郷土教育	1　ICT 機器の有効活用	3.0	・タブレット等を多様な機器を一層活用したい。
	2　情報活用・情報モラルに関する指導	2.7	・今後は家庭と連携した取組が必要である。
	3　学校支援ボランティア等の活用	2.3	・遠足や町探検などボランティアの協力が助かった。
	4　AEA との連携，外国語教育の充実	3.3	・学年担当を中心に，AEA と連携した授業ができた。
心の教育	1　挨拶・返事の指導	2.8	・個人差がある。適切に挨拶できるようにしていきたい。
	2　読書指導の充実	2.9	・隙間の時間に本を手にする習慣ができている児童が多い。今後も継続して取り組ませたい。
	3　いじめ・不登校「０」に向けた取組	2.9	・いじめ・不登校の未然防止や早期発見や情報共有，多くの教員が関わる対応も検討していきたい。
	4　道徳の時間の充実	2.6	・道徳科の授業における対話的な活動が，まだ難しい。
	5　教育相談の充実	2.9	・全保護者を対象とした教育相談を実施し，保護者との情報交換や信頼関係の構築につなげている。
人権教育 特別支援教育	1　人権教育についての取組	3.0	・日常の言葉遣いを改めて確認し，指導していきたい。
	2　個に応じた指導	3.2	・それぞれの児童の実態に応じたワークシート等を準備し指導の充実を図っている。今後も継続する。
	3　適切な就学指導の充実	2.8	・コーディネーターと連携しながら，保護者との継続的な教育相談を実施している。
体力向上 保健指導	1　朝の体力つくりの励行	2.8	・制限下で，恒常的な取組が難しい現状である。
	2　一校一運動（ラダー）の取組	2.2	・３学期以降も運動委員会を中心に取り組む。
	3　新型コロナウイルス対策	3.1	・学校と家庭とで連携した取組を行うことができた。
	4　食事のマナー・偏食指導の充実	3.1	・当面，全員前を向いたまま食べる指導を継続。
安全 防火 指導 防災	1　登下校の安全指導の徹底	2.9	・関係機関とも連携し，登下校安全を確保していきたい。
	2　廊下歩行の指導の徹底	2.7	・「はさみや」運動の統一実施で廊下歩行は改善した。
	3　移動教室の指導の徹底	2.8	・移動教室のルールを今後も継続して取り組む。
	4　災害時の指導の徹底	3.3	・「防災の日」の啓発や引き渡し訓練を実施できた。
教育環境	1　清掃指導の充実	3.2	・清掃指導強調週間の取組の反省を今後生かしていく。
	2　教室・廊下の整理整頓	3.0	・靴箱がきれいにそろえられるようになった。
	3　学級園の整備	2.6	・やや担当任せになっていた。各学級で責任をもって整備を行う。
	4　ごみの分別，節水・節電指導の充実	2.9	・ごみの出し方に課題がある。教師の見届けが必要。

３　次学期に向けての取組

○　「笑顔で挨拶八幡っ子」の実現に向け，今後も継続して挨拶指導に力を入れて取り組んでいく。特に，来校者等への挨拶に力を入れる。
○　「整理整頓気持ちの良い学校環境づくり」のため，校内や校外環境の整理を推し進めるとともに，始まりから終わりの取組を共通理解し，日々の清掃活動が一層充実するように手立てを講じていく。
○　各種避難訓練や登下校の安全指導の充実を重ねていく。コミュニティや青パト等との連携を図っていく。
○　学年に応じた宿題の在り方や良問に触れる体制づくりを改めて見直し，児童の学力向上につなげられるようにする。
○　新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の予防のための保健指導を充実させ，児童の発達の段階に合わせて具体的・継続的に指導していく。
○　いじめの早期発見につなげるよう日々の見守りだけでなく，定期的なアンケートの実施と確認を行なっていく。